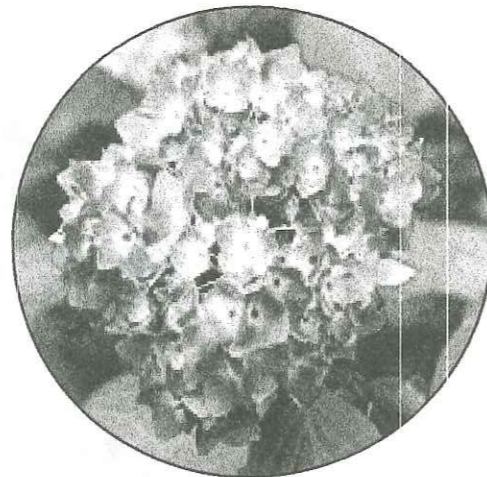


### アジサイの挿し木(挿し芽)の方法

アジサイのお気に入りの品種を見つけたら、挿し木をして、たくさん増やすことができます。

翌年に開花することもたびたびあるようで、四季の成長を見ながらアジサイの魅力を楽しめます。



#### ★挿し木をする気温と時期

- 20～25度くらいの気温で、日が長いほうがいい。(梅雨頃が一番よく、初秋も条件がいい。)
- 5～7月、9月が適切です。

#### ★挿し木の鉢や箱の置き場

- 明るい日陰で強風のあたらない場所に置く。夏は涼しい場所を選ぶ。
- アジサイは、比較的容易に発芽するが、発根しにくいときは、発根促進剤(ルートンなど)をつけると発芽しやすくなる。日中多少しおれても、夕方に元気になる場合はだいじょうぶ。

#### ★挿し木の水やり

- 土を乾かさないように管理する。しおれているようなら、霧吹きで葉に水分を与えてあげるとよい。
- 水の代わりに、メネデルを適正な量で薄めて使用すると、挿し穂が弱りにくく発根率がよくなる。

#### ★挿し木の用土

- 新しい鹿沼土、赤玉土、バーライト、バーミキュライト、ピートモスを、単用するのがよい。
- 排水性、保水性の優れたもので、肥料分のない土を使う。「新しい」「混ぜない」「肥料分のない」土が挿し木成功のコツ。また、「さし木の土」という市販品も発根しやすい。

### ★アジサイの挿し木のしかた

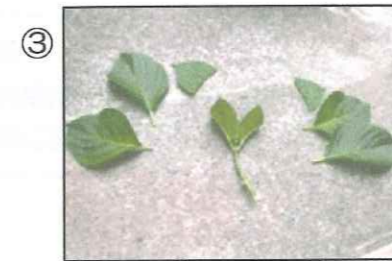
①挿す枝や葉を「挿し穂」と言い、挿す土を「挿し床」と言う。アジサイの花芽のついていない、できるだけ元気な新芽の部分を、15cmほど、カッターやはさみなどで、斜めにカットする。斜めにカットすることで、吸水力が高まる。



②カットした挿し穂を、1時間ほど水につけて、水揚げさせる。

③1節目の葉を半分に切り、2節目の葉は、すべて取り除く。写真中央が挿し穂。こうして水分の無駄な蒸発を防ぎ、また、挿し穂が動かないように、下の葉もカットする。

④アジサイの挿し穂のできあがり。



⑤写真では、赤玉土と鉢を使用しているが、ポリポットに挿してもかまわない。先に土を湿らせておいて、箸のようなものがったもので、挿し穂を挿す、やや斜め方向に、あらかじめ穴をあけておく。挿し穂の茎を無理に挿さず、穴をあらかじめあけておくのがコツ。



⑥挿し穂をセットして、じゅうぶん水をあげ、明るい日陰で管理する。ルートンを使う場合は、挿し穂をセットする前に使う。



★発根して安定するまでに2週間～1か月かかる。

新しい芽が出てきたら、別の5～6号鉢に植え替え(鉢上げ)をする。日当たりへ徐々に移動して、日光に慣らしていく。根が生えているかどうか、気になって何度も掘ってみていると、発根しにくくなるので、少し我慢我慢ですよ。

★そのほか、挿し木のできる植物

調べてみると、結構身近な植物で挿し木のできるものがたくさんありました。



**ゼラニウム**  
 今まで育てていたゼラニウムが徒長したり、来年用に増やしたい時などに挿し木をします。时期的は5月～6月、或いは9月～10月がいいようです。



**クチナシ**  
 クチナシの花は7月初旬に咲きます。咲いている最中に、あるいは咲き終わった直後に花芽のない枝を切りその枝を使います。



**菊**  
 時期は5月頃に挿し芽をして秋の花を楽しみます。また、11月に挿し芽してフレームの中で越冬させます。



沈丁花



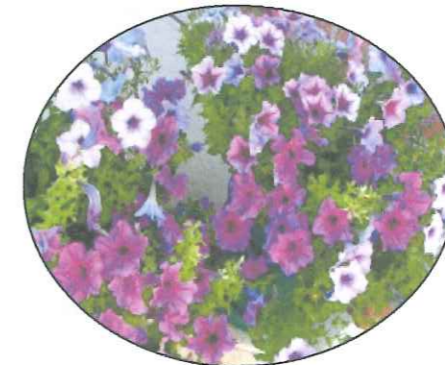
ベゴニア



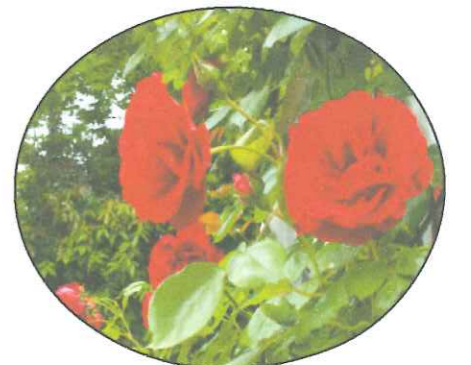
ランタナ



マーガレット



ペチュニア



バラ